

講義名	ブライダルコーディネーション論			授業形態	
担当教員	道前 美佐緒	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

ブライダルコーディネーション論（以下BC論）をとおして受講することで、日本ブライダル文化振興協会（BIA）認定アソシエイトブライダルコーディネーター検定（以下ASS）及び、国家検定ブライダルコーディネーター技能士3級取得に相当するブライダルの基礎知識を習得することができます。

BC論に併せて本講義では、披露宴の基礎知識とプロデュース能力を習得します。結婚式に比して、披露宴は、料理・飲料・ケーキ・引き出物・会場装飾など、多様な要素で構成されており、その準備には数か月の期間と数回の打合せを要します。本講義では、打合せの手順と多様な商品知識を得ることができます。また、既存の商品を提案するだけではなく、常に新奇性に富んだ商品企画し、カップルの個性を表現する演出を創造することが求められています。

そこで、座学で得た知識を活用し、模擬披露宴のプロデュース実習を行います。各チームごとに、自由な発想で魅力あるプランニングに取り組みます。また、プランニングした披露宴を、施設や時間の制約の中で、すべての顧客に満足していただけるように運営する必要があります。そこで、実際にホテル・式場の施設見学や第一線で働く担当者から、料理サービスや披露宴の進行について学びます。披露宴は新郎新婦にとって新たな人間関係を構築する場であり、そのプロデュースをとおして、自身のコミュニケーション能力やチーム貢献力を高めることができます。

なお、施設見学に赴く交通費は自己負担となります。また、施設見学の実施日は、会場の都合により通常授業と異なる日時になる場合があります。

到達目標

1. 披露宴の構成を理解できる。
2. ウェディングプランナーの打合せ業務を理解し、必要な知識を習得できる。
3. 料理・飲料・衣装・引き出物など、関連用品の基礎知識を習得し、手配業務を理解できる。
4. 模擬披露宴のプロデュースを通して、発想力、発掘力、チームコミュニケーション能力を高めることができる。
5. 結婚をとおして形成される社会関係を理解できる。

提出課題

平常レポート、グループワークの振り返りと、自身の視点での考察をまとめてください。
 模擬披露宴のプランニングについてのレポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

レポートは授業内でフィードバックします。

評価の基準

平常レポート 70%
 模擬披露宴のプロデュースレポート 30%

授業中のリアクションペーパーや毎回の課題への取り組みは、授業への積極的な参加と同義とみなし、その内容を重視します。授業外学習課題の内容は、各自が採集、選択した事例に対する考察レポートを1回提出していただきます。
 授業中の私語や飲食（水分補給やのど乾く）などは、周囲の人々にとって迷惑な行為を発見した場合、教室を退室していただきます。その場合、当該授業は欠席となります。

履修にあたっての注意・助言他

ASS検定合格には、ブライダルコーディネーション、及びブライダル事業論を履修し、知識を修得する必要があります。ブライダル情報誌やSNS、あるいは、身近な人の体験からブライダルの情報を収集することを心がけてください。
 施設見学などの機会には、ホテル・ブライダルビジネスのマナー基準に沿った服装や髪型で参加し、その場に相応しい立ち居振る舞いや言葉遣いを心がけてください。
 模擬結婚式のプロデュースでは、自分の役割に応じた責務を果たしてください。

教科書

.ブライダルコーディネーターテキスト（スタンダード）	（公社）日本ブライダル文化振興協会	（公社）日本ブライダル文化振興協会	3850	00000
----------------------------	-------------------	-------------------	------	-------

参考図書

.なし。

その他

授業計画

- 第1回：披露宴のコーディネート業務
 プランニングスケジュールを概観し、披露宴の関連商品を把握する。
- 第2回：衣装・ブーケ・ヘアメイク
 新郎新婦、および家族や列席者の婚衣装などの基礎知識と手配業務。
- 第3回：初回打合せ
 会場およびテーブルコーディネートとペーパーアイテムの基礎知識
- 第4回：中打合せ
 料理・飲料・ケーキ・引き出物の基礎知識
- 第5回：会場見学
 披露宴会場を見学し、実際にカトラリーなどに触れながら基礎知識を習得する。
- 第6回：披露宴の進行と演出
 一人の「物語」を表現し、人々の交流を生む工夫
- 第7回：披露宴のプロデュース モデルカップルに合わせたプランニング
 クレディングテーマを設定し、オリジナル演出を考案する。
- 第8回：披露宴プロデュース
 進行表を作成し、儀礼に必要な小物や道具をピックアップする。
- 第9回：披露宴プロデュース BGMと台本とアイテムデザイン
 進行表に合わせてBGMを選定し、台本を作成し、必要な小物のデザインを行う。
 第10回：披露宴プロデュース 司会コメントとBGM
 BGMを生かした演出効果と、司会、音響、プランナーとアテンダの連携を学ぶ
- 第11回：披露宴プロデュース 進行確認とアイテム制作
 プランナーを中心に、全員の役割を確認する。また、招待状などを制作する。
- 第12回：披露宴プロデュース 各チーム通し練習
 プランナーを中心に自主的に練習する。
- 第13回：披露宴プロデュース 各チームリハーサル
 リハーサルを行い、改善点を挙げ、ブラッシュアップする。
- 第14回：模擬披露宴A
 BチームをゲストとしてAチームが披露宴をプロデュースする。
- 第15回：模擬披露宴B
 AチームをゲストとしてBチームが披露宴をプロデュースする。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

次の科目で扱う教科書の範囲をお伝えしますので、教科書を予め読み、疑問を考えてきて下さい（予習90分程度）。授業で得た専門用語や知識は、確実に覚えるようにしてください（復習120分程度）。施設見学の前に、該当施設や業界について情報収集し、問いをもって参加してください。模擬人前式では、積極的に意見を出し、成果に繋がるよう練習をしてください。（予習・復習各120分程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目は、ブライダル関連企業での就業に必要な知識を学び、ASS及び、国家検定合格へ邁くものです。
 ホテル・式場に従事するビジネスパーソンの交流や模擬人前式プロデュースを通して、マナーやコミュニケーション能力、提案力、組織運営力を養うことは、本学の学位認定・学位授与の方針と一致します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

テキストの内容に基づき情報収集しうえでのディスカッションやグループワークを行います。それらを通して、新たな発想や他者理解の視点を得ることができます。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
 （公社）日本ブライダル文化振興協会 協会 協会
 （公社）日本ブライダル文化振興協会 協会 協会
 指定試験機関技能検定委員、ブライダルプロデュース会社経営、結婚式場顧問など、ブライダル業界を中心に広く企業の人材育成に携わった経験を活かし、これからのブライダル業界に求められる発想力や実行力を養います。

備考